

私の仕事観

「人間成長支援」が弊社のミッション(使命)。人材の成長を通じて日本全国の中小企業の成長に貢献していきたい、という思いを込めている。会社では仕事を「お客様の役に立つこと」と定義してきたが、今はこれだけでは足りないと思う。

「地域や社会のお役に立つ」レベルで商品やサービスを提供している会社でないと存続すら危ぶまれる時代が近い将来必ず来る。

どうやってたら社会に貢献できるレベルの人材を育てていけるか、日々そう考えながらコンサルティングに取り組んでいる。

# 人事評価制度で

# 日本の中小企業を元気に



日本人事経営研究室 代表取締役  
山元 浩二

**やまもと こうじ**  
地方銀行・コンサルティングファームを経て、2001年5月独立開業。人事評価制度運用支援を手がけ、多くの人材と企業に貢献。今まで手がけた人事・組織改革関与先は230社超に上る。2010年8月に初の著書『小さな会社は人事評価制度で人を育てなさい!』が増版9刷のロングセラーになり、人事評価制度の指南書として大きな反響を呼んでいる。

## 最近思っていることあり

先日ある会社の社長がぼつりとおっしゃった。

「自社の利益ばかりを追求していた時期は、結局赤字にしかならなかった」。

単純だが、経営の本質を突いた表現で、正にこれからの企業の取るべき道筋を言い表している。そうならないために必要なものが「経営理念」であり、「経営の方針」だ。最近、この理念づくりやその浸透に取り組む企業が確実に増えてきた。

1社でも多くの会社に理念や使命、こだわりを明確に発信できる企業になってほしいと願っている。

# Face of Top

## 未来に向かって

11年9月に青山にオフィスを構え、関東での人事コンサルティング活動を本格化。主に社員10〜200人程度の中小企業を対象にしている。この1年弱で実感したのは、関東でも人材育成を基軸にした人事評価制度を運用している会社が驚くほど少ないという事実。社員全員が同じベクトルに向かって日々挑戦し、成長していく。中小企業だからこそ実現しやすい組織風土だし、このような組織が確立できていないと、これからは生き残っていけない。

今後「ビジョン実現型人事評価制度」という考え方を全国の中小企業を中心に広めていきたいと思っている。日本の中小企業の元氣のために!